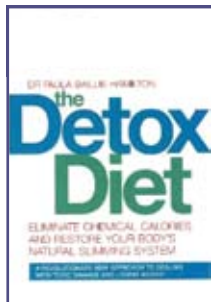


合成化学物質が肥満のメカニズムを作る原因—医学的実証

化学物質のカロリーを排除しよう



著作
ポーラ・ベイリー
—ハミルトン博士

肥満の原因は何でしょうか？現在、人々はさまざまなダイエットを行っているにもかかわらず女性では225g、男性では450gづつ年々太っている傾向にあるのはなぜでしょうか？

食物、スキンケア用品や洗剤に含まれる合成化学物質で太ることがありえるのでしょうか？

今日存在する多くのダイエット法の基盤は、1930年代、身体の消費カロリーよりも摂取カロリーが少なければ、身体は体脂肪を燃焼するという理論を立てたミシガン大学のジョンストン博士とニュースポロー博士の研究に基づいています。

ポーラ・ベイリーハミルトン博士は、その草分け的な著書「デトックス(解毒)ダイエット—化学物質のカロリーを排除して体本来が持つ瘦身機能を強化」の中で、彼女が提唱する考えが体重増加の根本的な原因であると述べています。体本来が持つ体重管理機能は日常生活の中で遭遇する有害な化学物質に害されています。—このダメージによって、私たちの体は次第に体重管理

が困難になり、たとえ食事を減らしたとしても結果的には太ってしまうのです。

このデトックスダイエットの研究では、私たちの食物や身近にある肥満の原因となる有害物質や化学物質カロリーをどのように避けるかについて述べています。また、どのようにしてスムーズに化学物質を体外へ排出し、体本来が持つ瘦身機能を取り戻すことができるかについて説明しています。

合成化学物質は二通りの方法で私たちの健康に害を与えます。まずは急性“中毒”で、一度に大量の有害物質を摂取してしまうとすぐに急激な反応を引き起こし、それによって世界中で22万人が毎年亡くなっています。次に微量で長期間蓄積していくというより巧妙なものです。

これがベイリーハミルトン博士が彼女の本の中で追っているものです。「デトックス(解毒)ダイエット」では、現在肥満が流行しているのは、農業、スキンケア用品、化粧品、家庭用品などに使われている有毒な合成化学物質のせいだと述べています。

有毒な合成化学物質は脂肪に溶けやすく、体内に蓄積されると体は正常に分解処理や排除が出来ないため、体内に残った有害物質を保存すべく脂肪細胞を作り出します。

カルバミン酸塩は殺虫剤の一種で、農作物や化粧品、薬の成分として使われており、

また養鶏場では代謝速度を落とす効果があることから成長促進剤としても使われます。ということは、果物や野菜に使われている同じ合成化学物質が家畜を太らせる為にも使われているのです！さらに体重増加を促進するために医薬品としても使われています。

人々は、単に運動しないというような努力不足によって太っているのではありません。実のところ、非難の矢は有害物質に向けられなければならないのです。有害物質は体内に微量しか蓄積されていない場合でさえ、直接筋肉に害を与え、また成長をコントロールしているホルモンを破壊することが知られています。カテコールアミンは重要な瘦身機能を持つホルモンの一種ですが、このホルモンは化学物質の攻撃を頻繁に受けているために、本来体が持つ瘦身機能が妨げられてしまい、新陳代謝が悪くなっています。

ベイリーハミルトン博士は、効果的なデトックスダイエットをやりながら、有毒な合成化学物質を含む食物、スキンケア用品、化粧品および家庭用品を排除し、オーガニック製品に置き換えていくことを推奨しています。さらに、彼女の研究では、オーガニック栽培した生産物の中に最高水準の「瘦身機能をもつ栄養素」がみられるということもいわれています。